

事務事業評価シート 平成 30 年度事後評価・決算

令和 2 年 2 月 21 日時点

事務事業名		13000	老人クラブ活動促進事業	予算科目	会計	款	項	目	担当班	社会班
施策体系	基本施策	27	高齢者福祉の充実	根拠法令	旭市補助金等交付規則	3	2	1	事業種別	☒ 主な事業（重点施策） 直4
	施策の展開	53	生きがいつくりの推進	戦略事業	240	老人クラブ活動促進事業				☐ 国土強靱化地域計画
	施策の展開			戦略事業						☐ 新市建設計画
										☒ 定住自立圏構想
										☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	・旭市内に居住する高齢者が対象。 ・旭市老人クラブ連合会と単位老人クラブの助成を行い高齢者の生きがいと健康づくりに資する活動の充実を図る。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
市町村合併により、1市3町の連合会が合併し旭市老人クラブ連合会が発足した。クラブ数・会員数共に減少傾向にある。平成27年度より「すこやかシニアクラブ旭」を愛称としている。	・単位老人クラブ会員の高齢化により、会長を引き継ぐ人材が不足し、解散するクラブがある。 特になし。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算)		単位:千円
1.負担金補助及び交付金	4,816	老人クラブ活動等社会活動促進事業補助金 等
2.特定財源の内訳(30年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	2,389	高齢者地域福祉推進事業費補助金
3.地方債	0	
4.その他	624	ふるさと応援基金

事業費	費目内訳	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
事業費	1.負担金補助及び交付金	千円	3,992	3,731	4,886	4,816	5,358
		千円					
		千円					
		千円					
		千円					
財源	事業費計 (A)	千円	3,992	3,731	4,886	4,816	5,358
	1.国庫支出金	千円					
	2.都道府県支出金	千円	2,653	2,483	2,430	2,389	2,905
	3.地方債	千円					
	4.その他	千円			980	624	1,000
	5.一般財源	千円	1,339	1,248	1,476	1,803	1,453

前年度増減理由	新規加入会員数が見込みよりも少なかったため
---------	-----------------------

従事職員数	常時 人	最大 人 × 日 = 延べ 0 人
-------	------	-------------------

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	30年度実績(30年度に行った主な活動)	ア 補助金額	千円	3,992	3,731	4,886	4,816	5,358
	新規会員に対する助成金 新設クラブに対する助成金	イ 老人クラブ数	クラブ	59	55	58	58	65

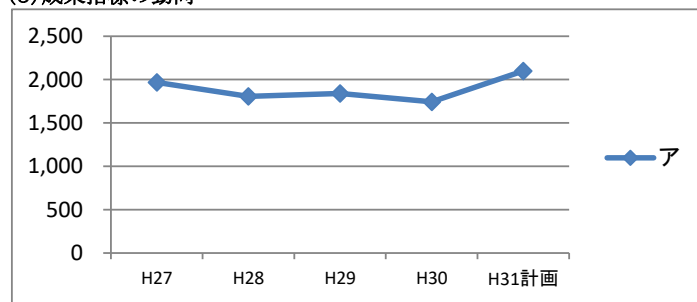
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	対象意図 高齢者 老人クラブ加入者の増加	ア 会員数	人	1,967	1,806	1,840	1,744	2,100
	対象意図	イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
	普通			
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③	(2)		
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☐ 概ね順調 ☒ 停滞 ☐ 実施困難
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	クラブが新設される一方で、解散するクラブもあるため
	② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ 数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下 成果指標イ ☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	クラブ新設は順調に一定数あるが、新設クラブは小規模人数で設立される事が多く、解散するクラブの会員数よりも少ないため
③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容
	通年	新規会員加入促進及びクラブ新設の補助を引き続き実施する。
今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止 ☐ 見直し ☐ その他 ()
	通年	新規会員加入促進及びクラブ新設の補助を引き続き実施する。